



# 笹目神社について調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

笹目神社は、古くは「<sup>ひじりしゃ</sup>聖社」といい、明治期下笹目村（現戸田市）の村社\*になりました。明治40年（1907）、村内の神社を<sup>ごうし</sup>合祀したのを機に改称しています。創立年は不明ですが、境内には柵の大木や江戸時代の彫刻などが残り、歴史の古さを物語っています。

\*村社…<sup>そんしゃ</sup>明治時代の社格の一つ。府県社・郷社・村社・無格社の順になっていました。

【『神道史大辞典』p.615(吉川弘文館、2004) / 『広辞苑』p.1665(岩波書店、2008)】

## 「笹目神社」を調べるためのキーワード

笹目神社(ささめじんじゃ)、聖社(ひじりしゃ)、下笹目村(しもささめむら)、村社(そんしゃ)、戸田市指定文化財(とだしていぶんかざい)

## テーマの棚に行って本を探す

■図書館の本は1冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。

「笹目神社」に関する資料には、以下の分類記号が付いています。本を探すときの目安にしてください。

※これがすべてではありません。

### 「笹目神社」に関する主な分類記号

069.9	博物館図録	175.9	神社	213.4	埼玉県の歴史
291.3	埼玉県の地誌	387	民間信仰		

## 戸田市立図書館所蔵の笹目神社関係資料

■戸田市立図書館で所蔵する資料の中から、事例別に「笹目神社」について調べることができる本を、

次ページから紹介します。

## 笹目神社の歴史を調べる

■笹目神社の江戸時代から現在に至る歴史を知りたいときは、以下の本が参考になります。

これらの本は、笹目神社の基本的な情報を調べる上でも活用できます。

書名	出版者	出版年	分類
『埼玉の神社』 北足立・児玉・南埼玉	埼玉県神社庁	1998	T175.9
	p.488 「笹目神社」 江戸時代から明治40年までの笹目神社の歴史を調べられます。		
『戸田市史』通史編 上	戸田市	1986	T213.4
	p.1129 「下笹目村の神社」 『新編武蔵風土記稿』*1、『武蔵国郡村誌』*2をもとにしています。 江戸時代から明治40年の合祀まで、笹目神社の歴史を調べられます。		
『戸田市史』民俗編	戸田市	1983	T213.4
	p.969 「村の神」、1358 「神社明細帳」※戸田部分抜粋 『神社明細帳』*3をもとにしています。明治6年に村社になったこと、明治40年の合祀及び神社名の改称について調べられます。		
『美女木下笹目の民俗』 戸田市史調査報告書第10集	埼玉県戸田市	1985	T213.4
	p.135-136 「神社の概要」、p.139 「村の氏神」 『新編武蔵風土記稿』、『武蔵国郡村誌』、『埼玉県神社明細帳』をもとにしています。江戸時代から昭和初期の笹目神社の様子が分かります。笹目神社の宮司についても触れられています。		
『ささめ』 新生笹目20周年記念誌	新生笹目20周年記念事業実行委員会	2003	T213.4
	p.17 「村内の神々を合祀して笹目神社が誕生する」 明治40年の合祀及び昭和期の改築の様子が分かります。		
『戸田むかし史ある記』	戸田市教育委員会	1982	T213.4
	p.64 「笹目神社と神馬」 関東大震災で拝殿が全壊し昭和5～6年に改築したこと、昭和28年5月に宗教法人となったことが分かります。		
『新編武蔵風土記稿』 第8巻	埼玉県立図書館	1954	T291.3
	p.136 「聖社」 江戸時代の聖社は、下笹目村にあった延命寺*4の管理下にありました。延命寺は、内谷村（現さいたま市）にあった新義真言宗一乗院の末寺でした。		

\*1『新編武蔵風土記稿』は、文化文政年間(1804-1829)に幕府によってまとめられた武蔵国村々の地誌です。

【『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」】

\*2『武蔵国郡村誌』は、明治8年(1875)に各府県が作成し国に提出した地誌です。【『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」】

\*3『神社明細帳』は、明治12年(1879)6月に埼玉県が作成した神社の明細帳です。【『戸田市史』民俗編 p.1318「解説」】

\*4 延命寺は、『武蔵国郡村誌』を見ると、明治5年廃寺になったことが分かります。

## 笹目神社の神様を調べる

■笹目神社の神様は、明治時代の合祀前と合祀後では、神様の数と名前に変化が見られます。  
 なお、資料中では「祭神」という項目で神様を探すとよいでしょう。

下笹目村にあった神社	明治初年（武蔵国郡村誌）	明治40年（神社明細帳）
聖社（のちの笹目神社）	おおなむちのみこと 大己貴命*1	おおひるめのむち 大日靈貴命／素盞鳴尊 倉稻魂命／菅原道真公
浅間社	このはなさくやひめ 木花咲夜姫命*2	木花咲耶姫命／ <small>おもたる</small> 面足命
津嶋神社	すさのおのみこと 素盞鳴尊*3	かしこねのみこと <small>いざなみ</small> 惶根命／伊弉冉命／ <small>はやたまのお</small> 速玉男命
天神社	菅相丞*4	ことさかのお 事解男命
第六天社	不詳	
稻荷社	うかのみたまのみこと 倉稻魂命	
稻荷社	倉稻魂命	
熊野社	不詳	

- \*1『武蔵国郡村誌』には「大己貴命」とありますが、「大己貴神」や「大己(己)貴命」と記載されることもあります。
- \*2「木花開耶姫」「木花之佐久夜毘売」という表記もあります。
- \*3 その他の辞典では、「夔」の字が使われています。どちらも「小さい」という意味があります。
- \*4「相丞」「相丞」は、『大漢和辞典』巻8にも載っていません。明治40年の『神社明細帳』に菅原道真がおり、明治初年も同じ神様を祭っていれば、大臣を指す唐名「丞相」の可能性もあります。『日本神名辞典』p.149には「菅丞相」で出ています。なお、『角川日本史辞典』p.571によると菅原道真は右大臣になっています。
- ◆神様の読み方は、『日本史よみかた辞典』及び『大百科事典』28巻索引、『新潮日本語漢字辞典』で調べました。この本で調べられない場合は、単漢字を漢和辞典で調べた上で、『日本神名辞典』を一つずつ確認しました。

■笹目神社（聖社）で祭っている神の名を調べるときは、以下の本が参考になります。

書名	出版者	出版年	分類
『戸田市史』民俗編	戸田市	1982	T213.4
	p.1358「神社明細帳」※戸田部分抜粋 昭和20年代の笹目神社に祭られた神様の名前が分かります。合祀により神様の数が十柱 <small>じゅうちゅう</small> に増えたことが分かります。		
『戸田市の寺社』 (戸田市文化財調査報告16)	埼玉県戸田市教育委員会	1985	T185.9
	p.60「笹目神社」 笹目神社の神様が十柱であったことが分かります。		
『武蔵国郡村誌』 第2巻	埼玉県立図書館	1954	T291.3
	p.118「聖社」 明治初期の聖社の神様が大己貴命であることが分かります。 ※表記は「己」が「巳」になっています。		
『戸田むかし史ある記』	戸田市教育委員会	1982	T213.4
	p.64「笹目神社と神馬」 現在祭られている神様の内、四柱の名前が分かります。		

## 笹目神社の文化財を調べる

■笹目神社には、彫刻や参拝者の奉納物が残っています。笹目神社の文化財について調べるときは、以下の本が参考になります。

書名	出版者	出版年	分類
第3回特別展 『戸田市の文化財』	戸田市立郷土博物館	1987	T069.9
	p.5「神馬 笹目神社蔵(市指定)」 戸田市指定文化財の神馬を写真で確認できます。		
第12回特別展 『祈りと美』	戸田市立郷土博物館	1996	T069.9
	p.22-23「戦争絵馬」、p.27「講中の奉納絵馬」 笹目神社に残る絵馬5点を写真で確認できます。		
平成24年度企画展 『戸田の絵馬』	戸田市立郷土博物館	2012	T069.9
	p.2「絵馬の歴史」、p.5「市内に残る絵馬」 戸田市指定文化財の神馬及び、絵馬「七福神面付絵馬」「龍彫刻絵馬」を写真で確認できます。また、文章から笹目神社に金属製の御幣 <small>みへい</small> や神像があることが分かります。		
『戸田市の寺社』 (戸田市文化財調査報告16)	埼玉県戸田市教育委員会	1978	T213.4
	p.61「笹目神社」 笹目神社に残る彫刻5点の名称、大きさ及び製作年代が分かります。		
『戸田市史研究』第11号	埼玉県戸田市教育委員会	1982	T213.4
	p.52-54「笹目神社蔵 神馬の由来について」 戸田市指定文化財の神馬の製作者、製作年代及び笹目神社に神馬が奉納された理由について論じています。		
『戸田の歴史と文化』	戸田市秘書課	1980	T387
	p.43「笹目神社の神馬」 笹目神社に伝わる木造の神馬の写真が載っています。		
『戸田むかし史ある記』	戸田市教育委員会	1985	T185.9
	p.64-65「笹目神社と神馬」 笹目神社境内の柵の大木及び神馬を写真で確認できます。		
『戸田の絵馬』	戸田市秘書課	1985	T185.9
	p.3-4「馬形の献上」、p.28-29「絵馬に託された現代の祈り」 笹目神社「6つの小面が貼られている絵馬」を写真で確認できます。		

神様の名前の読み方等を知りたいときは、当館ホームページ「調べ案内」内「神様について調べるには(日本編)」

(>> [トップページ](#) >> [参考資料室トップ](#)>> [調べ案内の目次「哲学・宗教」](#)>>)をご覧ください。

[https://library.toda.saitama.jp/reference/sankou/pathfinder/1/17kami\\_ni.htm](https://library.toda.saitama.jp/reference/sankou/pathfinder/1/17kami_ni.htm)